

短期大学 保育科							
氏名	猪熊 弘子	職名	教授	専攻分野	社会学	学位名	修士
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
『死を招いた保育—ルポルタージュ・上尾保育所事件の真相』 ひとなる書房、2011年8月（単著・2013年5月 日本保育学会第49回日私幼賞・保育学文献賞 受賞）							
『子育てという政治—少子化なのになぜ待機児童が生まれるのか？』 角川新書、2014年6月（単著）							
『子どもがすくすく育つ幼稚園・保育園』 内外出版社、2018年5月（共著）							
「子ども子育て支援新制度がもたらす保育の社会化と市場化—保育は誰のものなのか？」『大原社会問題研究所雑誌』 vol. 722、2018年12月（単著）							
「イギリス就学前教育における Safeguard 概念： Early Years Foundation Stage 2012、2014改定を手がかりに お茶の水女子大学『人間文化創成科学論 叢』第22巻、2020年3月（単著）							
最近5年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p><著書></p> <p>『重大事故を防ぐ園づくり』 ひとなる書房、2019年1月（共著）</p> <p><教科書></p> <p>『アクティベート保育学 保育原理』 ミネルヴァ書房「第7章 健康安全と保育」2018年6月（共著）</p> <p>『新しい保育講座7 保育内容「健康」』 ミネルヴァ書房「第11章 安全への配慮と子どもへの安全教育」2020年4月（共著）</p> <p>『新・保育内容・健康』 教育情報出版「第9章 安全指導と安全への配慮」2022年1月（共著）</p> <p>『保育者のためのキャリア形成マネジメントブック』 みらい「第3章第5節 保健衛生・安全対策」2023年3月（共著）</p> <p><学会発表></p> <p>英国における保育施策と子どもの貧困—ロンドン・ハックニー区に着目して 2018年5月日本保育学会第71回大会 仙台・宮城学院女子大学</p> <p>なぜ Child Death Review が必要なのか？—シャロン・ビンセント『子どもの死を防ぐ～レビューから学ぶ』における各国 CDR 制度の比較から、日本での導入について考える 2018年9月、日本子ども安全学会第5回大会、明治大学駿河台記念館</p> <p>The comparative study of childcare market in Japan and England: focus on cost, quality and parent's choice.（日本</p>							

と英国の「保育市場」における比較研究—コスト、質、親の選択に着目して) 2018年8月、ヨーロッパ乳幼児教育学会 (EECERA) ハンガリー・ブダペスト工科大学

イギリスにおける Child Death Review 制度 —その構築と変遷 2019年5月、日本保育学会第72回大会
東京・大妻女子大学

イングランドのECECにおける子どもの保護 — 不適格者を排除するシステムの構築に着目して 2020年9月、国際幼児教育学会第41回大会 広島大学 (Web開催)

イングランドの就学前教育における指定保護責任者の役割～Keeping Children Safe in Education に焦点をあてて 2021年5月、日本保育学会第74回大会 富山・富山大学 (オンライン開催)

Risky play in a kindergarten in Japan reduces child injuries: Focusing on unique but risky play equipment. (日本の幼稚園において危険な遊びが子どものケガを防ぐ:ユニークだが危険の多い園庭遊具に焦点を当てて) 2021年9月、ヨーロッパ乳幼児教育学会 (EECERA) 第30回大会クロアチア・ザグレブ (オンライン開催)